

令和8年 第2回鹿沼市立小中学校教科用図書選定委員会 会議録

1 日 時 令和8年7月7日(火) 開会 午後2時00分 閉会 午後2時50分

2 場 所 鹿沼市民情報センター 2F学習室1

3 出席委員	会 長	中村 仁	鹿沼市教育委員会 教育長
	副会長	高山 通昭	鹿沼市立北中学校長
	委 員	倉松 俊弘	鹿沼市教育委員会 教育長職務代理者
	委 員	三澤 雅子	鹿沼市立北小学校長
	委 員	藤江 大	鹿沼市PTA連絡協議会理事
	委 員	川方 尚子	鹿沼市PTA連絡協議会理事

4 その他の出席者	鹿沼市教育委員会事務局	学校教育課教育指導担当兼指導係長事務取扱	高野久美子
	"	学校教育課指導係	指導主事 大門千恵子
	"	鹿沼市総合教育研究所	指導主事 荒木 暢子
	"	"	指導主事 高橋 桂子
	"	学校教育課指導係	指導主事 吉澤 涼

5 議 事 <司会：事務局 高野>

(1) 開会 <事務局：高野>

- ・本会は、鹿沼市立小中学校教科用図書選定委員会会則第3条により組織され、第5条により開会する。
- ・なお、本会会則第7条規定により、本会議は傍聴することができるが、本日は傍聴者なし。

(2) 教育長あいさつ

- ・本会は1回目の5月11日に調査員を承認。
- ・5月中旬から6月下旬にかけて調査をしていただいた結果について、答申を受ける。各規約にそって進行。
- ・本会議録については、採択ホームページにて公開の対象となる。ただし、傍聴要領、会議要領に沿って発言者については非公開となる。率直な意見をいただきたい。
- ・このあと教育委員会にて正式に採択となるが、その後公開されるまでは情報の取り扱いには慎重を期していただきたい。調査員はずっと非公開。名前を出さないようお願いしたい。
- ・本市の教育委員会にて決定となる。

(3) 選定委員会委員及び事務局の紹介

- ・委員紹介及び出席者自己紹介。
- ・出席者過半数のため本会は成立する。

(4) 日程及び資料についての説明

- ・本日は、配付した資料を基に進める。
- ・終了は15時半を予定している。
- ・事前に資料を共有している、参考にしてほしい。

(5) 協議記録 <司会：中村会長>

①会議録承認

- ・口頭説明 <事務局：大門>
- ・質疑なし
- ・全委員により承認

②会議録署名人の指名について <中村会長>

- ・第2回会議録署名人は、会則第6条第2項により倉松 俊弘 委員、高山 通昭 委員にお願いしたい。

③-1 調査研究の経過について<事務局：大門>

- ・採択の基本方針に従い、3回調査委員会を実施し、4名の調査員が調査研究を行ってきた。
- ・調査員は市内小中学校に勤務している教員となる。
- ・このあと、代表者から説明をさせていただく。

※見本本の確認 14：20まで（黄色の付箋の付いている本が今回の採択本となっている）

③-2 答申

●小学校 特別支援学級（主任）

- ・研究の方針（以下の5点）
 - ①児童の能力差、発達の段階に合わせて使えるもの ②日常即して活用可能なもの
 - ③色彩豊か五感に訴えるもの ④体験的な活動につながるもの
 - ⑤学年に捉われずに活用できるもの
 - (1)「こども もののなまえ絵じてん」
 - ・身近なものの名前が分野別になっているため、グループ分けしやすい
 - ・絵と言葉が一対一対応になっている
 - ・子ども向けの解説だけでなく、大人向けの解説もあり教室での活用の方法がとらえやすい
 - ・なぞなぞ、探し絵などもあり、楽しみながら言葉への興味関心につながる
 - (2)「さわって学べる算数図鑑」
 - ・計算、図形など算数に関する様々な内容について仕掛けを基に理解できる
 - ・図形、立体のページ 展開図の操作も可能、空間認知に課題のある児童に効果的である
 - ・分数のページ 分母の異なる大きさの視覚的に捉えることができる
 - (3)「マンガとクイズで楽しく学ぶ！日本の歴史」
 - ・旧石器時代から令和までマンガや写真、イラストを通して学ぶことができる
 - ・歴史ミステリー、クイズなど子どもが歴史に親しみやすくなっている
- (委員)「こども もののなまえ絵じてん」のように、今までのものは大人向けの解説はあったか。
- (主任) これまでのものではあまりなく、今回の本では子どもたちに「このような話をしてあげてください」のような解説があり、活用しやすい
- (委員) とてもよい本であるように感じた

●中学校 特別支援学級（主任）

- ・研究の方針
 - ①身近な題材を扱っているもの ②個人差、能力差に応じて活用できるもの
 - ③社会的自立につながるような内容を扱っているもの
 - ④基礎的な内容で定着が図れるようなもの ⑤偏りがなく幅広い内容になっているもの
 - (1)「ひとりだちするための 算数・数学」
 - ・実生活において必要な項目が網羅されている
 - ・基本的な内容を身に着ける

・実際の生活シーンに合わせた学習に活用できる、身近に想像できるイラスト

(2)「おつきあいのきほん」

・生徒の生活に役立つ内容

・1つの項目で見開き2ページ わかりやすいイラスト、具体的な言動についての例

(3)「マンガでわかる よのなかのルール」

・日常生活で役立つ 身近な題材

・親しみやすい4コマ漫画 具体場面の設定

・巻末 学校での使い方 具体例の掲載

(委員)「マンガでわかる よのなかのルール」は文字がひらがなのみで、漢字がない。このような本を選んだ意図は。

(主任)生徒の実情に合わせた選書を行った。

(委員)ルビがついていればよいのではないか？

(主任)イラストが多く入っている。文字が苦手な児童もイラストから情報を取入れられる観点でも選書している。

※教科用図書の再確認

④協議 <中村会長>

まずは、小学校特別支援学級用附則第9条図書について御意見を。

(委員)小学校の国語では基本は語彙となる。見たことがないものの語彙はなかなか入らないのが現状。

この本は、通常級でも使っていたことがある。豊富なものが載っており、言葉の力をつけるのに適している。

次に中学校特別支援学級用附則第9条図書について御意見を。

・意見なし

⑤選定 <中村会長>

調査員の答申通り、選定を行ってよいか。

・異議なし

(6) その他

7月17日(木)に教育委員会で採択決定となる。その後各学校、県教委に報告となる。

市のホームページで情報を公開するまで非公開扱いとなる。

委員へ教科書会社等から質問があったら事務局へ。

(7) 閉会

以上をもって、午後15時00分に閉会した。

この会議の次第は、書記(吉澤 涼)の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためにここに署名する。

会議録署名人

高山通昭

倉松俊弘